

## 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	文学部	身分	教授
氏名	新原道信		
NAME	Michinobu Niihara		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記の通りご報告致します。

## 1. 研究課題

(和文) 新型コロナウイルス感染拡大下における“「壁」の増殖”に対峙する探求型フィールドワーク

(英文) Exploratory fieldwork to confront the proliferation of 'barrier' during the spread of COVID-19, Coronavirus Disease 2019.

## 2. 研究期間

2022年度～2023年度

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

(和文)

研究期間内に、①これまでの“探求型フィールドワーク”の成果を見直し、②「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)」下の“グローバル社会で生起する地球規模の諸問題 (global issues)”の現況把握と意見交換を行い、③その背後にある“根本問題 (fundamental problem, problema fondamentale)”を切り出した。

「新型コロナウイルス感染症」、さらにクロアチアとロシアの戦争状態などにより、“壁”の増殖 (proliferation of 'barrier')”の問題はより複雑・複合化した。COVID-19は、大量の熱消費をともなう国際フィールドワークの意味を問い直し、“フィールドに出られないフィールドワーク”という経験は、人間と社会のうごきを捉える試みに何をもたらすのかを問いかけた。

この問題に対峙するため、“うごきの比較学”研究会での活動を中心として、研究報告の機会を設けた。イタリアの共同研究者との間でも、相互に情報を交換し、地球規模で進行しつつある社会の変動を捉えることを試みた。研究期間内の成果を research map に登録し、その最終的成果を、2024年9月刊行予定の社会科学研究所の年報でとりまとめ、学生諸氏への知的刺激に寄与する予定である。

(英文)

During the research period, I 1) reviewed the results of our previous "exploratory fieldwork", (2) identified and exchanged opinions on the current status of global issues arising in the "planetary society" under the COVID-19, and (3) identified the "fundamental problems" behind the COVID-19. The results of the research period will be registered on the research map.